

令和3年度保育所における自己点検・自己評価

二葉こども園の教育・保育目標

キリスト教の愛の精神を基盤とし、子どもが自ら生きる力を養い、豊かな個性を育みながら、共に生きることを、喜びとする教育保育を目指します。

二葉こども園の教育・保育方針

- 目に見えないものを大切にする。
- 子どもの主体性を大切にする。
- 一人ひとりを大切にする。

《評価基準》

- A：大変よい
- B：よい
- C：一部検討を要する
- D：改善を要する

評価項目の達成及び取組状況

項目	評価内容	評価	振り返り
保育計画	園の保育方針を理解して、保育計画を立てた	B	カリキュラムの全体での検討・確認を通し、共通理解して進めたいが、なかなか全員そろったの時を持てずにいた。保育時間が延び教師会の持ち方もしっかり検討したい。
	園の保育目標を理解して、年間保育計画を立てた	B	
	保育計画は、前年度の反省を生かしている	B	
	保育目標は、全職員で検討し、共通理解を図っている	B	
保育実践	園の保育方針を理解して、実践をしようと努めている	B	日々子どもたちの姿から計画を立てて実践している。子どもたち・教師の日々の振り返りを大切に、より保育実践をしていく。
	年間保育目標を意識して保育に取り組んでいる	B	
	環境の構成を意識した保育や過程を常に工夫している	B	
	素材・用具を適切に活用している	B	
	評価結果を基に、保育の改善に努めている	B	
環境づくり	子どもの発達を促すための環境づくりを心がけている	B	コロナ禍での保育が続き、園内の様々なものの消毒を今まで以上にしている。どれだけしても日々不安もあるが、今できること、取り組めることをしっかりとやるようにしていく。
	常に遊具や教具の安全確認を行い、定期的に洗浄・消毒をしている	B	
	子どもの姿を見ながら、臨機応変・計画的に環境づくり環境づくりを行っている	B	
	保育室の整理整頓に努め、いつも気持ちの良い保育室づくりを心がけている	A	
子どもへの関わり	一人ひとりを大切に関わっている	A	一人ひとりを大切にして関わっている。日々の様子を見守りじっくりと関わる中で、今何が必要なのか、同援助していくのかをしっかりとさせて関わっていく。
	一人ひとりの思いを受け止め、その思いをできるだけ実現させようと努めている	B	
	一人ひとりの子どもの目標と課題を明確にし、見通しを持って関わっている	B	
	一人ひとりの子どもの話を同じ目線で聞き、丁寧に関わっている	B	
保護者対応	保護者に対して、丁寧な言葉遣いと気持ちの良い対応を心がけている	B	コロナ禍での様々な行事の持ち方が変わり、保護者とのかかわりも少なくなっている。だからこそ、少しの時でも子どもたちの姿を伝えあい、同じ目線で見守っていけるようにしていきたい。
	送迎時に子どもの姿を必ず伝えている	B	
	保護者に子どもの伸びているところや課題を伝え、連携をとっている	B	
	園に出入りしている保護者・子どもたちに自分から気持ちの良い挨拶をしている	B	

総括

5つの評価項目について重点的に取り組んだ結果、子ども一人ひとりの思いを受けとめ、丁寧に关わる保育を実践することができた。また、保護者に対しても、個人面談を実施するなど丁寧な対応ができたと思う。今回の自己評価を踏まえ、さらなる保育の質の向上を目指してゆきたい。